

大阪スマートシティパートナーズフォーラム

「安全・安心なまちづくり」プロジェクト成果発表

東京海上日動火災保険株式会社
デジタルイノベーション部

2023年2月16日

To Be a Good Company



東京海上日動

目次

1.	本プロジェクトを通じて解決したい課題	3
2.	今年度の取組概要	4
3.	取組内容① 災害体験ARの高度化×大阪府様	5
4.	取組内容② 妊産婦ホテル避難制度×泉大津市様	8
5.	今後のスケジュール	12

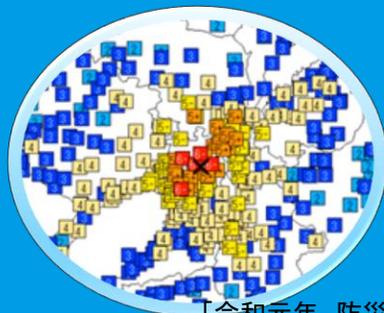
1. 本プロジェクトを通じて解決したい課題

地域社会の防災・減災力の向上

東京海上グループは**自然災害リスクに対応し、お客様や地域社会の「安心・安全」につながる商品・サービスの提供を使命**としています。

自然災害による地域社会の“いざ”に備えるべく、自治体の皆様と共に課題解決を行い、デジタルやデータの活用を通じた、「**地域社会の防災・減災力向上に貢献したい**」と考えております。

背景



「令和元年 防災白書」より

自然災害の激甚化

近年、地球温暖化に伴う気候変動により自然災害が増加・激甚化の傾向にあります。



被災時の対応負担

想定を超える災害が発生することで災害発生時の自治体の皆様の対応ロードが増えている傾向にあります。



平時からの意識啓発

“いざ”に備えるべく、平時からより多くの住民の皆様に災害のリスクを身近に感じていただき、自然災害へ備えて頂く必要があります。

2. 今年度の取組概要

2022年度は自治体の皆様からの声に基づき、頂いた課題を解決すべく、以下2点の取組を実施致しました。

① **災害体験ARの高度化 × 大阪府様**

② **妊産婦ホテル避難制度保険 × 泉大津市様**

取組内容①

災害体験ARの高度化×大阪府様

弊社では、河川氾濫による浸水や土砂災害が発生した際のリスクを、スマホやタブレットで疑似体験できる「災害体験AR」を開発し、府民の皆様の防災意識の向上に向けた啓発活動を実施しております。

今年度、**大阪府様の河川データとの連携**により、アプリの高度化を実施し、河川氾濫が発生した際のリスクをより身近に感じていただくことができました。

取組内容②

妊産婦ホテル避難制度保険×泉大津市様

泉大津市様で導入されている「**災害時妊産婦ホテル避難制度**」をよりサステナブルな制度にすべく、共創させて頂きました。

利用者を増やすための**動画作成**、**保険を活用したサステナブルな制度運営**、いざという時の行動変容を促すための**ホテル避難訓練**、等の取組を、泉大津市様と共に考え、行動し、課題解決に取り組んでおります。

3. 取組内容① 災害体験ARの高度化×大阪府様

取組：デジタルを活用した“体験”による住民の防災意識向上

災害体験AR（Augmented Reality：拡張現実）アプリを活用し、自治体様と連携して、住民の皆様の防災・減災意識を高める取り組みを実施致しました。



トップページ



洪水



崖崩れ



地すべり



土石流

「災害体験AR」は、スマホのカメラ機能を通じて水災発生時の浸水や土砂災害の状況を可視化します。

QRコードを読み取ることでどなたでも無料で体験いただくことが可能です。

ぜひお試しください！⇒



3. 取組内容① 災害体験ARの高度化×大阪府様

事例①：大阪府管理河川データとの連携(2022年8月)

大阪府が管理する河川データを「災害体験AR」に連携することで、大阪府エリアのみ本アプリが高度化され、リスクをより身近に感じていただくことができるようになりました。

現状

- ✓ 災害体験ARで表現した「洪水浸水想定区域図・洪水ハザードマップ」は国が管理する比較的大きな主要河川に限られ、お住まいの自治体が管理する河川が含まれない場合がある
- ✓ 従い地域によっては「地点を設定して体験」が使用できない場合がある
- ✓ 「大阪府が管理する二級河川も対象にしてほしい」とのご要望を頂いた

大阪府様との共創事例

- ✓ オープンデータである**大阪府管理河川の洪水による想定浸水深**を地理情報システム(GIS)上で集約
- ✓ 「洪水浸水想定区域図・洪水ハザードマップ」上で可視化できる**対象を拡大**

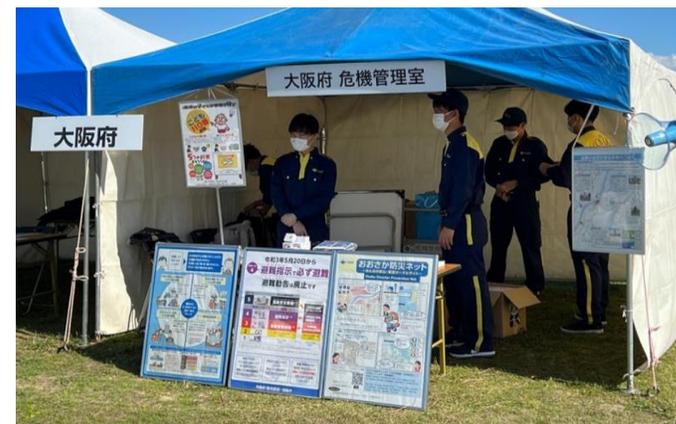


大阪府共同チラシ

3. 取組内容① 災害体験ARの高度化×大阪府様

事例②：大阪府下自治体様との連携

豊中市主催「豊中市デジタルEXPO」（2022年11月26日）、大阪府主催「アカカベウォーキングイベント」（2022年11月6日）にて、弊社もブース出展させて頂き、参加者の皆様に「災害体験AR」を通じた洪水の浸水体験をしていただきました。



- ①**無償**であること、②**アプリインストール不要の“Webアプリ”**であること、の2点が自治体・府民の皆様にとって、ご利用いただきやすいポイントとなっております。
- その他にも、**高石市、枚方市**でも訓練・イベントにてご活用いただいております、**大阪スマートシニアライフ事業の「おおさか楽なび」LINE**の防災救急情報コンテンツとしても掲載しております。

3. 取組内容②妊産婦ホテル避難制度×泉大津市様

取組：妊産婦向け「災害時ホテル避難制度」のサステナブルな制度運営

「妊産婦ホテル避難制度」は台風や豪雨などの災害のおそれがある場合、洪水浸水想定区域等にお住まいの妊産婦の方が**躊躇せずに避難していただくこと**を目的とし、**ホテル避難宿泊費用を自治体にて助成する制度**です。

泉大津市では2021年9月に制度導入されました！

【対象】

洪水浸水想定区域に居住する妊産婦

【行動の流れ】

- ・事前登録(窓口申請or Web申請)
- ・避難所開設のお知らせ
→市より登録メールアドレスに連絡
- ・対象者にてホテルに電話(空室の確認含め)
- ・ホテルへチェックイン(宿泊費用無償・ホテル立替)
- ・災害の恐れがなくなり次第チェックアウト



【洪水浸水想定区域に居住する妊産婦対象】
災害時にホテルを避難所として利用できます

いいね! シェアする ツイート

更新日：2022年07月06日

泉大津市では、洪水浸水想定区域にお住まいの妊産婦の方を対象に、新型コロナウイルス感染症対策として、台風や大雨等の災害のおそれがある場合、ホテルの空き室や宴会場などを避難のために利用できる支援制度の運用を開始します。

制度の対象者

洪水浸水想定区域(青葉町・板原町1丁目・板原町3丁目・板原町5丁目・上之町・河原町・小松町・汐見町・式内町・下之町・清水町・菅原町・高津町・なぎさ町・西港町・東港町・本町・虫取町2丁目)に住所登録のある方で、事前登録時に妊婦又は産婦(産後1年以内)の方と乳幼児及び付添いの方1名までが対象です。

※洪水浸水想定区域は、200年に一度の災害想定区域としております。

3. 取組内容②妊産婦ホテル避難制度×泉大津市様

事例①：事前登録者を増やすための動画作成

せっかく作った本制度をより多くの市民のお伝えし、「事前登録者」を増やすことを目的とし、泉大津市危機管理室の皆様と共に、「妊産婦ホテル避難制度」に関する周知動画を作成し、市民への周知方法を工夫致しました。（若年層を意識した2分の短編動画）

洪水浸水想定区域に居住する妊産婦対象

令和4年度

災害時に
ホテルを避難所として利用できます

泉大津市では、洪水浸水想定区域にお住まいの妊産婦の方を対象に、新型コロナウイルス感染症対策として、台風や大雨等の災害のおそれがある場合、ホテルの空き室や宴会場等を避難のために利用できる支援制度を開始します。※洪水浸水想定区域は、200年に一度の災害想定区域としております。

利用方法

1. 【事前登録】当制度利用を希望される方は、事前登録が必要。（別紙参照）
2. 【申込開始】市がホームページ等で避難所の開設を発表した時から。
3. 【申込】ホテルへの避難を希望される方は、直接、ホテルへ申込み。（不明な点は、市役所へ問い合わせを。☎ 33-1131）
4. 【避難】ホテルへチェックイン。
5. 【帰宅】災害のおそれが無くなり、市が避難所の閉鎖を発表。市より、制度適用の終了をホテルに報告。チェックアウト。

利用料金

無料 ※制度対象者の宿泊費用については、市が負担いたします。

その他

- ・本制度は、市が避難所を開設した場合のみ適用されます。
- ・ホテルの空き状況によっては、制度を利用できない場合がございます。
- ・1回の利用人数は、申請者と乳幼児及び付添いの方1名までとさせていただきます。
- ・避難時の食事については、ご自身でご用意してください。

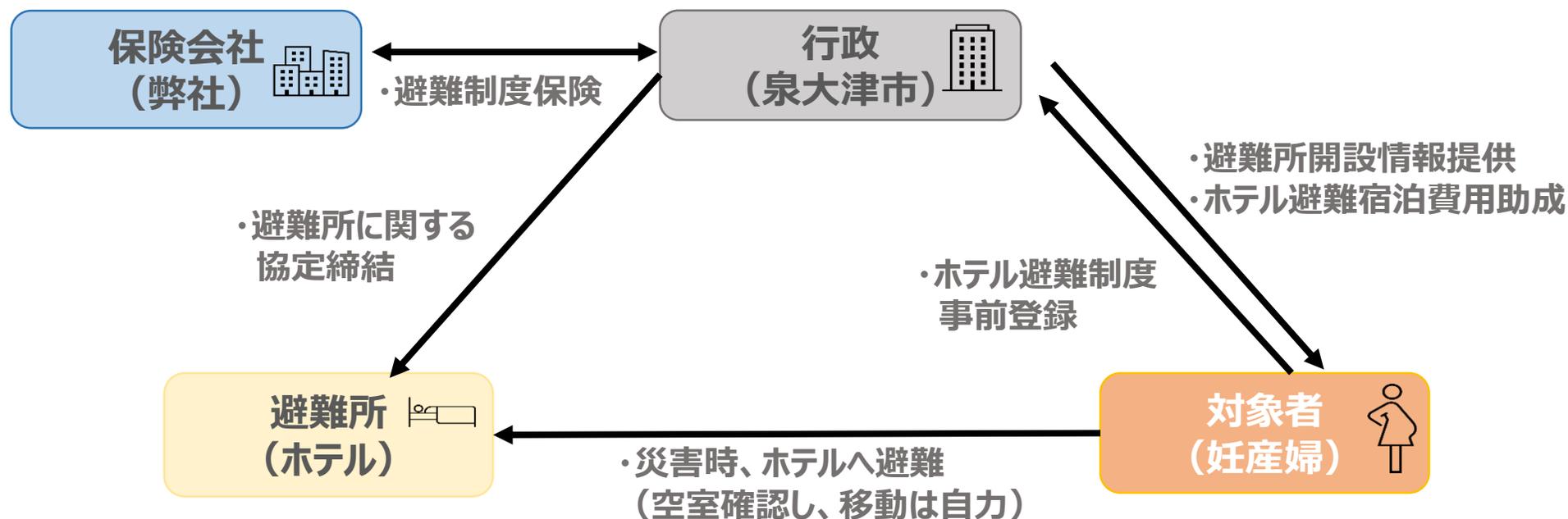
裏面も
見てね。



3. 取組内容②妊産婦ホテル避難制度×泉大津市様

事例②：ホテル避難制度の保険組成

せっかく作った本制度を、よりサステナブルな制度運営にすることを目的とし、**本制度に関する保険組成を実施**致しました。



ポイント①：避難制度に係る費用を平準化できます

ポイント②：宿泊料の精算業務をアウトソーシングできます

3. 取組内容②妊産婦ホテル避難制度×泉大津市様

事例③：いざという時の行動変容を促すための避難訓練

せっかく作った本制度をいざという時に、**実際に活用頂ける対象者を増やすこと**を目的とし、泉大津市危機管理室の皆様が「**妊産婦ホテル避難訓練**」を実施致しました。(1月14日)弊社も「災害体験AR」を活用し、ブース出展をさせて頂きました。



ハイハイも、ウロウロも、OK



洪水AR 東京海上日動

4. 今後の取組予定

妊産婦ホテル避難制度をより良い制度にしていくために、引き続き、対応・検討して参ります。

今後検討が必要な課題



① 定期的な制度周知

「妊産婦ホテル避難制度」の対象者は毎年入れ替わります。毎年周知し続け、いざという時に事前避難という行動に移して頂くための啓発を引き続き、泉大津市様と共に検討して参ります。



② よりユーザー目線の制度に向けたブラッシュアップ^o

今後、「ホテルへの移動手段」への制度拡大、ホテル・タクシーの予約導線、妊産婦さん以外の要配慮者への対象拡大等、も検討して参ります。市町村ごとの課題に沿ったオーダーメイドでの検討を行って参ります。

【自治体の皆様への期待】

- ぜひ皆様の市町村でお困りのこと、解決したい課題をぶつけて頂き、共に課題解決に向けて取り組ませてください！
- 引き続き、「安全・安心なまちづくり」に向けて、幅広い自治体様とご連携させて頂きたく、よろしくお願い致します。

To Be a Good Company

「いざ」というとき、お役に立ちたい。
万が一のときも、新たな一步を踏み出すときも。
お客様と社会のあらゆる「いざ」を支える、
強くやさしい存在でありたい。

この思いを日々の行動として積み重ね、
すべての人や社会から信頼される良い会社
“Good Company”を目指し、挑戦を続けてゆきます。

To Be a Good Company



東京海上日動